

[058]九州大学大型計算機センターニュース : No. 58

<https://doi.org/10.15017/1477862>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 58, pp.1-2, 1973. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



九州大学 大型計算機センターニュース

No. 58

福岡市東区大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL 092-64-1101)
内線 2256

目 次

- ◇ 処理プログラムのレベルアップについて…………… 1
- ◇ TSS端末接続時間での打ち切りについて…………… 2

◇ 処理プログラムのレベルアップについて

5月14日(月)より新処理プログラムE072により処理を行ないます。今回修正される主なものは次の通りです。

1. FORTRAN(V-4, L-4からV-4, L-6)

- (1) 整合配列の配列要素を多く使用した場合の障害を修正。
- (2) 計算型GOTO, 割当型GOTOなどで文番号が60個以上あった場合の障害を修正。
- (3) DO型並びがさらにカッコでくくられている場合の障害修正。
- (4) ↑を誤って使用した場合の処理に障害があったのを修正。
- (5) FORMATで136桁の出力を指示すると最後の桁が*となる障害を修正。
- (6) ベキ乗計算 $R * I$, $R * R$ のエラー障害を修正。
- (7) 負の値で指定桁数にするため4捨五入すると1桁ずれるG変換の障害を修正。
- (8) 下変換Fw.dで $d=0$ のとき, $1 > 1 \times 1 \geq 0.5$ を出力すると0.となる障害を修正。

なお, FORTRANに次のような制限事項がありますのでご注意ください。

- (1) 1プログラム単位のRBの大きさは 2^{18} をこえてはならない。
- (2) 入力リスト中の変数をそのリスト中の添字に使用してはならない。
- (3) LIBEで作成された9ビットMTの実行時入力はできない。
- (4) 多重代入文の右边が文字定数の場合, 左辺の型を一致させなければならない。

(5) ENCODE文で情報伝送最大桁数は1800桁まで。

(6) DOの端末文が入出力文でリスト中のDO型並びに誤りがあったときコンパイル時にアボートする。

2. ALGOL(V-3, L-10)は継続です。

◇ TSS 端末接続時間での打ち切りについて

5月中は、端末接続時間での計算打ち切りは行ないませんのでデマンド・ジョブ利用者はご注意ください。